

県民生活・土木交通常任委員会

- 1 開催日時 平成28年7月13日（水） 10時00分～13時50分
- 2 開催場所 議員室
- 3 説明員 県民生活部長、土木交通部長および関係職員
- 4 議事の概要

【県民生活部所管分】

(1) 平成27年度の消費生活相談の状況について

委員からは、なかなか相談するきっかけがなかったり、内容によっては誰にも相談せずに隠してしまうということもあると思うので、相談したから被害に遭わずに済んだとか、そういった事例をもっとPRをして相談しやすい体制をつくっていくほうがよいのではないか、相談件数は氷山の一角に過ぎないから、相談の窓口に来られた方への対策だけでなく、行政として警察と連携をとって対応を図るなど、県民を守るという視点で、もっと違った方向での対策をとることができるのではないか、などの意見が出された。

(2) 新生美術館の基本設計について

委員からは、本当にこんなよいものをつくりたいというような熱意も伝わってこないし、このままではよいものがないと思うので、一からもう一遍考え直したらどうか、しっかりと新生美術館を整備いただきたいので、開館後の運営も含めて、こういった美術館にしたいので、こういう整備が必要であるということをしかり責任を持って説明いただくようお願いしたい、などの意見が出された。

(3) 新県立体育館を核としたスポーツ・健康づくり拠点に向けた「施設整備検討懇話会」について

委員からは、新県立体育館の基本計画の策定段階でのパブリックコメントの実施に当たっては、体育館だけでなくスポーツ・健康づくり拠点整備という全体計画もあわせて示した上で行うべきではないか、などの意見が出された。

(4) (仮称)彦根総合運動公園整備計画の検討状況等について

【土木交通部所管分】

(5) 公共交通の活性化に向けた重点的取組について

委員からは、びわこ文化都市公園へのアクセス向上に関しては、関連する他部局もそれぞれ検討を進められているが、具体的な施策を盛り込むのは、土木交通部で策定予定の地域公共交通網形成計画だと思うので、しっかりと連携をとっていただいた上で取り組みをお願いしたい、などの意見が出された。

(6) 大戸川ダム検証について

委員からは、これをきっかけに下流府県である京都府、大阪府ともしっかりと話合いの場をもって、滋賀県がある程度リーダーシップをとって取り組んでいただきたい、などの意見が出された。



委員会で配付された資料

- 1 平成 27 年度の消費生活相談の状況
- 2 新生美術館の基本設計について
- 3 新県立体育館を核としたスポーツ・健康づくり拠点に向けた「施設整備検討懇話会」について
- 4 (仮称)彦根総合運動公園整備計画の検討状況等について
- 5 公共交通の活性化に向けた重点的取組について
- 6 大戸川ダム検証について